

東光小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的な知識や技能を習得し、課題解決に生かす力の向上
- 主体的に学びに向かい、互いを高め合う力の向上

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員**  
特別支援学級担任：幸路真理
- 委員**  
校長：岡田恭一  
教頭：前田和博  
教務主任：瀬川知絵

校長 岡田恭一



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや四則計算については、ある程度の定着が見られる。 ●課題解決のために必要な情報を読み取る力が弱い。	・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けることができる。 ・教科書の内容や問題文の意図、図や表、グラフが示す意味などの読み取りができる。	・定期的に小テストを行ったり、計算練習などを継続的に行ったりすることで、基礎・基本の定着を図る。 ・重要な部分にアンダーラインを引いたり、指示語などのキーワードを囲んだりして注目させ、何が書かれているかを的確に捉えることができるようにする。 ・図や表、グラフなどの読み取りは、日常生活やいろいろな教科と関連付けて、常時指導していく。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分が体験したことについては、進んで書いたり話したりすることができ、伝える力を身に付けてきている。 ●友達の意見を聞いて自分の意見をまとめたり説明したりする力が十分育っていない。	・根拠や理由を明らかにしながら、自分の思いや考えを表現することができる。 ・他者の意見を取り入れながら、自分の思いや考えを深めることができる。	・選択肢や書き出しのモデルを提示したり、自由記述の欄を設けたりして、自分の考えを書く量を増やしていく。 ・友達の発言や発表に対して自分の意見を言う時の話型を示し、思いや考えを深められるようにする。 ・ホワイトボードやICTを活用することで、自分の考えを整理したり、友達の考えとの共通点や相違点に気付いたりして、思いや考えを深める場面を設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題にまじめに取り組み、方法や手順が分かる学習には意欲的に取り組める。 ●自分から課題を見つけて学習しようとする意欲が乏しい。	・学習に対して見通しをもち、主体的に取り組むことができる。 ・自ら課題を見つけて学習を進めたり、話し合い活動等を通して解決する方法を考えたりすることで、学ぶ楽しさや喜びを感じることができる。	・何を学ぶのが児童に伝わるように、授業のめあてを提示する。 ・学んだことを振り返る場面を設け、自分の成長や友達の考えに対して感じたことを伝え合い、評価し合う。 ・児童が興味をもって学習に取り組むことができるように、教材・教具の提示の仕方や発問を工夫する。 ・児童が自ら選択して学習に取り組めるように、タブレットを使って行うことができる自主学习教材を準備しておく。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

